

〔問1〕

次の（ 1 ）～（ 20 ）の設問について答えよ。

著作権保護のため、非公表（択一式 20問）
次ページ以降に例題を掲載しています。

〔問2〕

次の文章を読んで、問いに答えよ。

都市基盤施設（インフラ）を取り巻く社会状況として、人口減少や高齢社会の進展、インフラの老朽化の進行、自然災害の頻発、環境問題への関心の高まり、情報通信技術の進展、民間活力導入への機運の高まりなどが挙げられる。

大阪府技術職員には、社会状況の変化を踏まえ、中長期的な視野を持って、府民の生命・財産や社会経済活動を都市基盤施設の面で支えることが求められる。

そこで、都市基盤施設を取り巻く社会状況を少なくとも一つ取り上げ、10年先の将来に向けた都市基盤施設に係る施策を考えて具体的に提案せよ。

以下の問題は例題です。（令和2年度大阪府職員採用試験で実際に出題された問題とは限りません。）

〔例題1〕公園や庭園に用いられる緑化樹木に関する次の記述のうち妥当なのはどれか。

1. カイツカイブキは、ヒノキ科の常緑広葉樹である。
2. ヤマボウシは、ミズキ科の落葉広葉樹である。
3. イロハカエデは、マメ科の落葉広葉樹である。
4. アジサイは、バラ科の落葉広葉樹である。
5. カツラは、ヤナギ科の常緑広葉樹である。

【正答：2】

〔例題2〕 次の記述は国土交通省が令和元年7月に公表した「グリーンインフラ推進戦略」の一部に加筆したもの（下線部が加筆した箇所）である。記述のA～Cに当てはまるものの組合せとして妥当なのはどれか。

- ・ の有する多様な機能を活用して持続可能な都市づくりを進めるグリーンインフラの取組は、平成27（2015）年に国連サミットで採択された （SDGs）の目標を実現するための基盤である。
- ・ グリーンインフラの に際しては、環境の変化により当初の計画では想定していなかった事態が生じうることを前提とし、時間の経過とともに発揮される機能を随時モニタリング・検証しながら、地域住民等の多様な参画主体の合意を形成しつつ、 が有する不確実性を踏まえた順応的な を行うことが重要である。

A	B	C
1. 自然環境	持続可能な開発目標	維持管理
2. 自然環境	地球温暖化対策計画	維持管理
3. 木材	持続可能な開発目標	維持管理
4. 木材	持続可能な開発目標	防火対策
5. 木材	地球温暖化対策計画	防火対策

【正答：1】